

学位審査結果報告書

学位申請者氏名 山田 志麻

学位論文題目 在宅要支援・要介護者における舌圧と栄養素の摂取量の関連
The association between tongue pressure and nutrient intake in
adults receiving home care services

審査委員 (主査) 藤井 航



(副査) 辻澤 利行



(副査) 柿木 保明



学位審査結果の要旨

本研究は、要支援または要介護の認定を受け、在宅医療・介護サービスを利用している者（以下「在宅要支援・要介護者」）において、舌圧と栄養素の摂取量と関連を明らかにすることを目的としている。

在宅要支援・要介護者 95 名（平均年齢：84.6 歳）を調査対象とした。舌圧測定器を用いて舌圧を測定した。簡易型自記式食事歴法質問票を用いて 5 種の栄養素（たんぱく質、ビタミン D、ビタミン E、ビタミン C、葉酸）の摂取量を求め、先行研究にもとづく基準量および日本人の食事摂取基準（2015 年版）で示された推奨量または目安量をもとに摂取基準に達しているかどうかを評価した。また、舌圧を説明変数、摂取量が基準に達しない栄養素の数の合計数を目的変数としポアソン回帰分析を行った。

舌圧が 20kPa 以上の者と比較して、20kPa 未満の者は摂取量が基準に達しない栄養素の数が有意に多かった。すなわち、基準量未満の栄養素の合計数では率比が 1.8（95%信頼区間 = 1.2-2.7）、推奨量または目安量未満の栄養素の合計数では率比が 1.7（95%信頼区間 = 1.2-2.5）であった。

本論文は結果から、舌圧が低い在宅要支援・要介護者は栄養素が十分に摂取できていない可能性があることを明らかにした、非常に有意義な論文である。

本学位審査においては、主査と副査 2 名による公開審査における質疑応答も概ね適切な回答を得た。審査委員会における合議の結果、本論文の内容は学位論文として価値あるものと判断した。